

## 会議録

会議の名称	令和5年度 第6回座間市地域包括ケア会議		
開催日時	令和6年3月19日(火) 14時00分～15時30分		
開催場所	市役所5-4会議室		
出席者	松永委員、平原委員、金子委員、内海委員、岡村委員、高間委員		
事務局	福祉部長寿支援課長寿支援係 小林係長 山上主任		
会議の公開可否	<input type="checkbox"/> 公開	<input type="checkbox"/> 一部公開	<input checked="" type="checkbox"/> 非公開
	傍聴者数	0人	
非公開又は一部公開とした理由	座間市地域包括ケア会議開催要綱第6条第2項に該当するため		
議題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度のケアマネポケットの内容について</li> <li>・令和6年度の地域包括ケア会議(子会議)の議題について</li> <li>・令和6年度第一回親会議への報告について</li> </ul>		
資料の名称			
会議の結果			
司会 委員	<p>まずは、次第にある「来年度のケアマネポケットの内容について」、松永委員よりお願いします。</p> <p>ケアマネポケットに掲載予定の資料をご覧ください。</p> <p>おおむね座間市内に限った情報提供はこのくらいのボリュームになる。第一圏域はぜんぶ撤退のため、そもそもありません。相模が丘のふれあいネットワークは移動支援という考えではなく、生活支援サービスのため、掲載しない予定である。</p> <p>前回、障がい福祉課が使っている他市の事業所の情報について、事業所にも連絡をし、かつ確認して、一応どこも掲載は可能との返答だったが、掲載の範囲が膨大になってしまうためケアマネポケットへの掲載は割愛します。座間市内の事業所については、サービス等の詳細を掲載予定だが、他市について、そこまでの詳細の情報は載せられないし、座間市の事業所が8か所なのに対して、相模原市だけでも33か所となり、比重がおかしいことになってしまうため、今回は割愛します。</p>		
司会 委員	<p>いつ頃に完成の予定か。</p> <p>4月1日に配布という予定ではない。完成次第、配布予定である。</p>		
司会 委員	<p>では、次の議題、令和6年度の地域包括ケア会議(子会議)の議題についてです。ご意見はありますか。</p> <p>今まで検討してきたものとしては、居場所・買い物支援・移動支援</p>		

委員	<p>8050、居住支援が出ていた。</p> <p>当包括として課題として考えているのは、介護保険によらない生活支援サービスについて依頼できるところが民間しかなく、情報が不足している状況である。</p>
委員	<p>生活支援サービスの話について。多様な生活支援サービスが求められているので、対応するためには、情報を共有していく必要はあると感じる。</p>
委員	<p>もう一つは、家族が精神障害だった人への支援で、うまく連携が取れないところがあり、どう動くべきかが課題である。うまく連携が取れると支援にも入りやすい。</p>
司会	<p>「にも包括」という、「精神障害にも対応した地域包括」という精神障害にも対応した地域包括のシステムの構築という形で、厚生労働省が提示している。</p>
委員	<p>精神障害にも地域包括ケアシステムを構築していきましょうというのはわかるが、相談できる事業所ですよと言っていきなり包括に精神障害の方が相談にきても、たらいまわしになる恐れはあると思う。現状でも、障がいサービス担当となかなか連携はとりづらいというのが課題としてはある。</p>
委員	<p>その他、退院支援の際に医療機関との連携が課題ではある。</p>
事務局	<p>この部分については、親会議で、そこをどうスムーズにやるかしないか、規則的なものを市内統一し、市外に広めていくのかなど、議題として挙げてもいいと思います。</p>
事務局	<p>移動支援に関しては市民の方からも要望が多いです。通院の部分を1～2年詰めていただき、課題が見えてきたけど、こうしていこうというのがまだ見えていないのであれば、また継続してより深めるというのいいのではないのでしょうか。新しい課題を毎年組まないといけないではないと思います。</p>
委員	<p>4月からライドシェアも始まり、移動支援については、引き続き課題であるとは感じる。新しい取り組みが始まるのであれば一つの社会支援として深めていってもいいのかなとは思いますが。</p>
事務局	<p>第9期の介護保険計画策定にあたり、高齢者全員ではないがアンケートを実施している。質問項目がちょっと違うので単純には比較できないが、外出を控えている方がいるのであれば、じゃあどう理由で控えているんでしょうかと。その方々の理由を掘り下げ議論をするのはいか</p>

司会	<p>がか。事務局として、アンケート上での外出を控える理由の上位は、足腰が痛いと理由が多いという数字は持っているので、そういったところを示しながら、みなさんのご意見を聞いていくこともできると思う。</p> <p>では、移送支援の方は、第9期の介護保険計画の際に実施したアンケートの結果を一資料として、どんな高齢者が何にこまっているのかというのをほどこいていって、ケア会議を議論していく、方法を検討していくでよろしいでしょうか。その中で、座間に合う移送支援というのは、どういうものだろうかという議論に進んでいくとよい。</p>
委員	<p>包括ケア会議の議題は、地域課題検討会議で挙がっている内容になると理解しているが、各包括で移送サービスは課題として挙がっている状況か。</p>
事務局	<p>各包括、圏域ごとに問題のとらえ方は多様だが、1年のうち一回は議題として挙がっている。乗り物なのか外出支援なのか、ベンチなのか、それぞれ形はあるものの、議題として挙がっているのではないだろうか。</p>
事務局	<p>高齢者タクシー券を出すとかそういった話はここでも政策にはまったく繋がらないので、それは抜きで議論していただく方がいいかなと思います。タダにしてどうなるのかという結果が無いのに、そこを補助するという政策は生まれないので。</p>
司会	<p>では、まとめとして、令和6年度の包括ケア会議の議題としては、移送支援とします。また、家族に精神疾患がある場合の連携についてや生活支援サービスに対する情報共有については引き続き情報共有が必要と考えます。親会議については、令和6年度の包括ケア会議の議題報告と、退院支援における医療機関との連携に関することを議題として出すということよろしいでしょうか。</p> <p>次回子会議：7月16日（火）</p>